

10 都市計画道路二口北野線（主要地方道新湊庄川線）の未整備区間の整備促進について（継続）

県	土 木 部 都 市 計 画 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

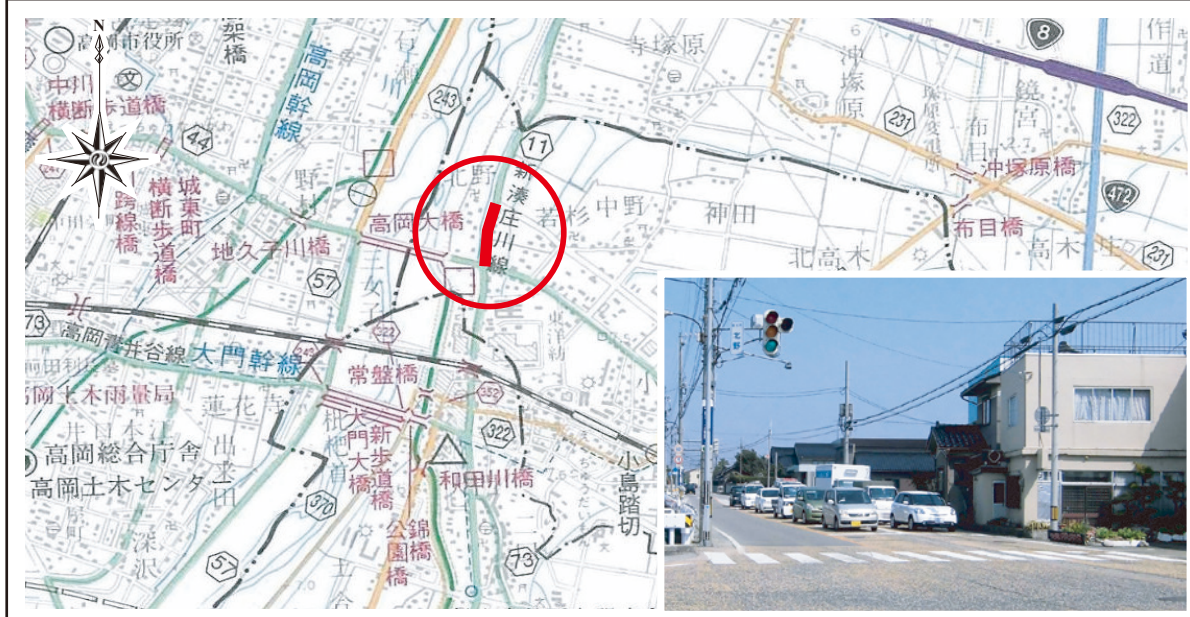
本路線は、本市道路網における環状道路を形成する重要な幹線道路です。

しかしながら、当該箇所は歩道が未整備であることから、通勤・通学時の歩行者や自転車にとって非常に危険な状況であるとともに、高岡方面に向かう右折車線長の不足による慢性的な交通渋滞が生じており、早急に安全で円滑な交通の確保が求められています。

つきましては、都市計画道路二口北野線未整備区間の整備促進について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
都市計画道路二口北野線 （主要地方道新湊庄川線）	大島北野地内	県	計画延長 380m 計画幅員 17m

位 置 図



11 主要地方道高岡小杉線(都市計画道路太閤山高岡線)の五歩一交差点立体化について(継続)

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本路線は、高岡市と富山市を結ぶ県西部の幹線道路であり、さらには本市の都市環状軸を形成する基幹道路でもあります。

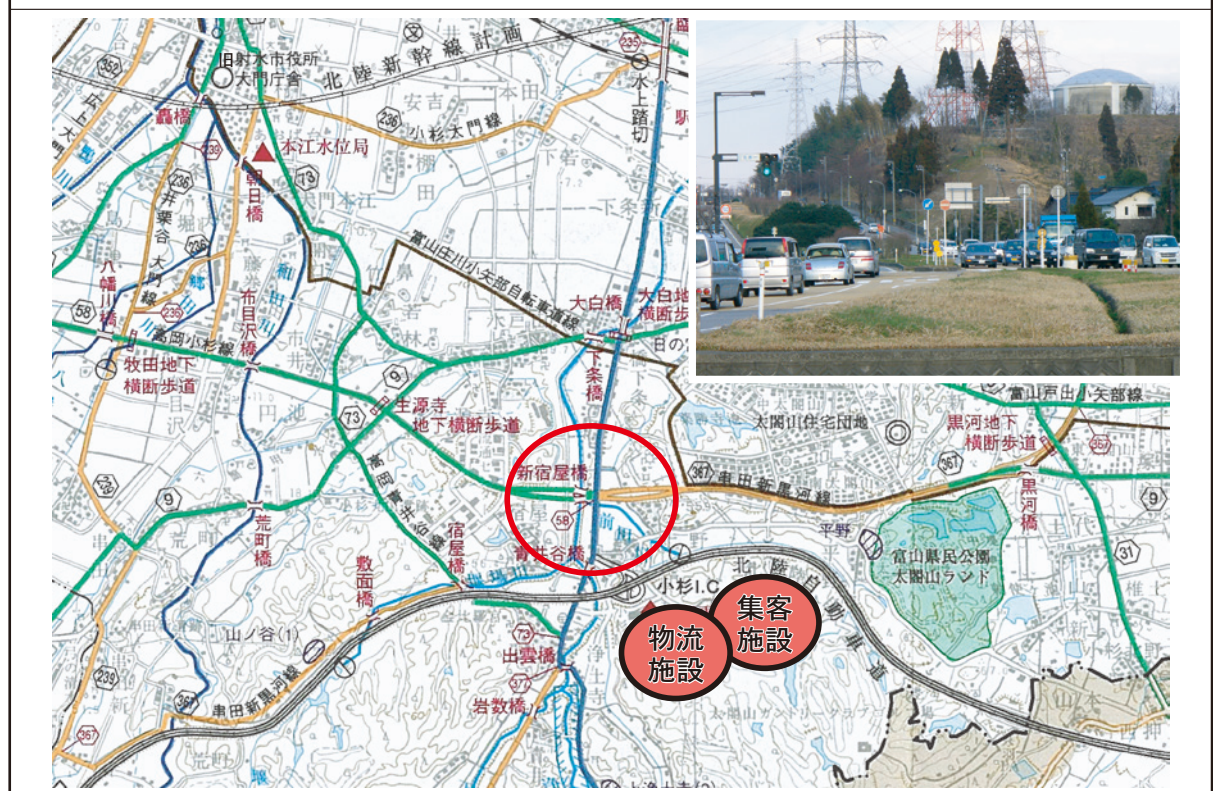
現在は四車線道路で供用されておりますが、国道472号との五歩一交差点は、北陸自動車道・小杉ICへのアクセス部となることから、慢性的な交通渋滞に悩まされている状況です。

また、平成27年8月には、小杉IC南部に大型会員制倉庫店が開業し、今後、大型物流業務施設の整備が計画されるなど、人・物の流れが一層活発になると想定されます。

つきましては、交差点の渋滞や交通事故等解消のため、本交差点の立体化について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要
主要地方道高岡小杉線 道路改良事業	橋下条地内～ 南太閤山地内	県	計画延長 1,200m 計画幅員 40m (五歩一交差点立体化)

位 置 図



12 (仮称)七美四方荒屋線の道路新設について(継続)

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本市の北部地区と富山市を結ぶ道路は、一般国道8号及び一般国道415号の2路線が主であり、両路線とも慢性的な交通渋滞に悩まされている状況です。

つきましては、この2路線を補完し、国際拠点港湾である伏木富山港の連絡強化を支援する道路の調査について格別のご配慮をお願いいたします。

位 置 図



13 踏切道の安全対策について（継続）

県	土木部道路課 高岡土木センター
---	--------------------

射水市内には、「あいの風とやま鉄道線」と「万葉線」の鉄道路線が走っており、県道や市道などと交差する踏切は37箇所と多くなっています。

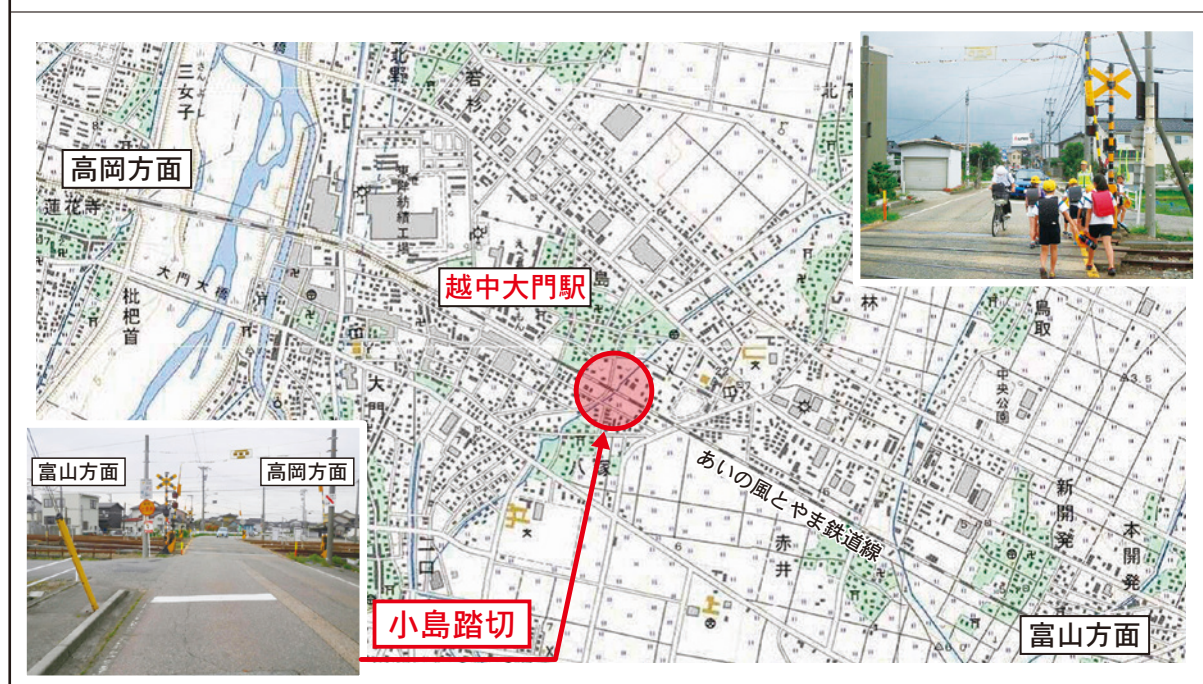
とりわけ通学路にある踏切については、安全対策が強く求められています。

中でも「あいの風とやま鉄道線」と「県道八町大門線」とが交差する「小島踏切」は、多くの児童・生徒が通学することから、通学路における安全対策が必要な踏切として、平成29年1月に「踏切道改良促進法」の「改良すべき踏切道」としての指定を受けております。

つきましては、「小島踏切」の早期改良について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
踏切道改良事業	越中大門駅東側の 小島踏切	県 あいの風とやま鉄道 JR貨物	踏切道改良

位 置 図



14 前田川護岸改修事業と河道流下断面の確保 (親司川・鴨川・下条川・堰場川) について (継続)

県	土 木 部 河 川 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

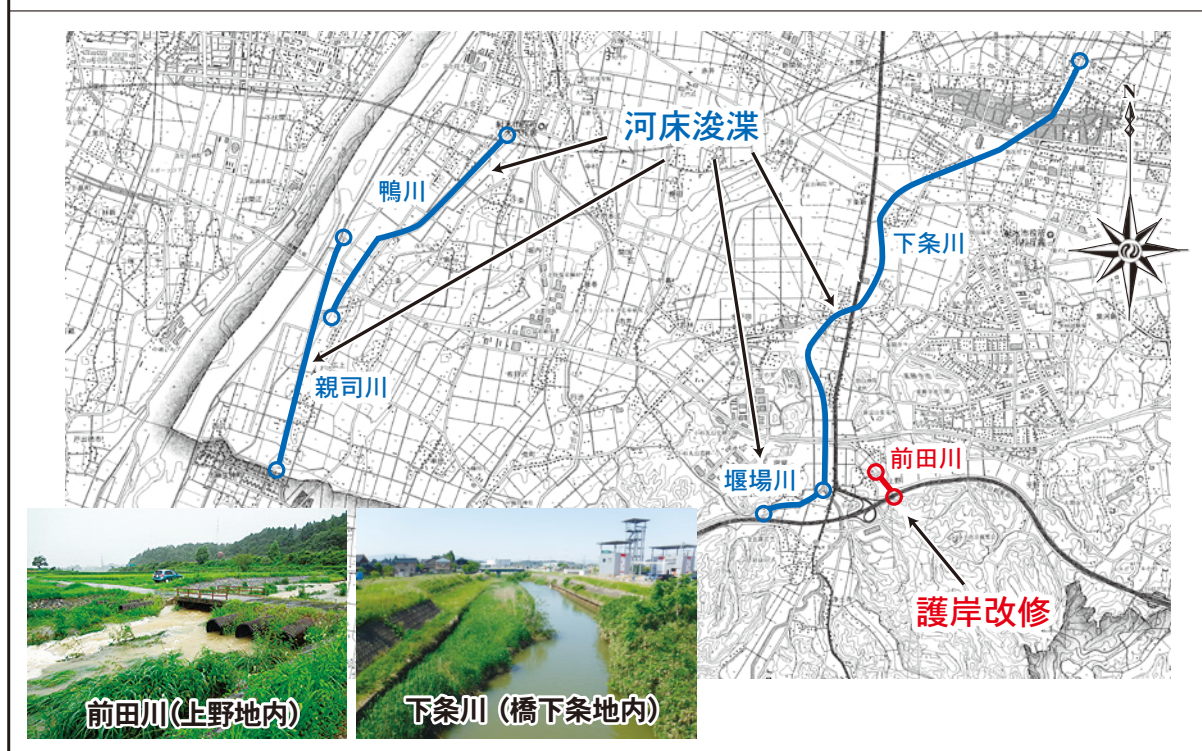
前田川は、本市南部丘陵地から下条川に流下しており、上流部の河川断面が狭あいで、一部に未改修区間があることから、出水期の被災が懸念されています。

親司川・鴨川については、長年の土砂堆積や水草の繁殖があり、豪雨時には堤体からの漏水も見受けられます。また、下条川・堰場川についても、土砂堆積が著しい状況にあります。

つきましては、前田川の護岸改修事業の早期整備及び親司川の制水門改修を含めた親司川・鴨川・下条川・堰場川の河道流下断面の確保（河床浚渫）について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
前田川改修事業	上野地区	県	護岸改修
河川維持修繕	親司川 広上地区	県	河床浚渫
	鴨川 土合～広上地区		
	下条川 戸破～橋下条地区		
	堰場川 宿屋地区		

位 置 図



15 土砂災害防止対策の推進について（再要望）

県	土 木 部 砂 防 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本市の南部地域は、急傾斜地の崩壊により住民の生命、身体に著しい危害が生じる恐れのある箇所が多数あります。急傾斜地においては土地所有者等が崩壊防止工事を行うことが困難又は不適當と認められる場合、県、市が急傾斜地崩壊対策事業を実施していますが、富山県小規模急傾斜地崩壊対策事業では、5戸以上の家屋に倒壊等の著しい被害が及ぶ恐れがある地域が対象となっています。

しかしながら、本市には、5戸未満の土砂災害警戒区域が多くあり、市単独での対応は困難であります。

つきましては、地域住民の安全・安心の確保、地域コミュニティの維持の観点から、小規模急傾斜地崩壊対策事業の拡充について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
富山県小規模急傾斜地崩壊対策事業	市南部地域	市	急傾斜地崩壊対策 21箇所（5戸未満）



16 重点密集市街地整備事業の推進について (継続)

国	国土交通省住宅局 北陸地方整備局
県	土木部建築住宅課

放生津地区は、狭小敷地や狭あい道路の問題など防災面、居住環境面で多くの課題を抱えていることから、平成15年に県内で唯一、「重点密集市街地」として公表されました。

このことを契機に同地区では、「多世代が住み続けられるまち放生津」を基本方針として、地域住民による居住環境改善の機運とともに防災まちづくりへの意識が高まってきているところです。

つきましては、重点密集市街地整備を着実に推進するため、社会資本整備総合交付金の確保について引き続き格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
社会資本整備総合交付金 (住宅市街地総合整備事業)	放生津地区	市	計画面積 8ha

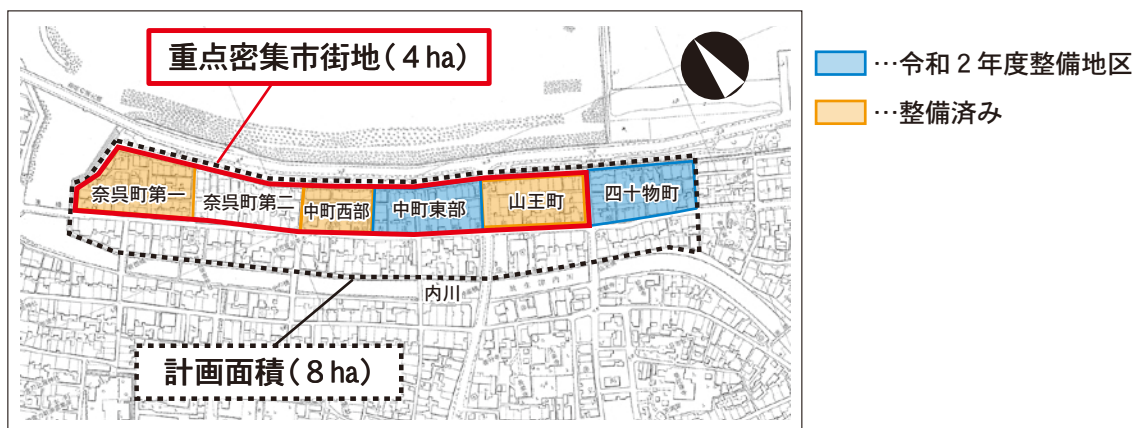
位 置 図



施行前（老朽建築物除却前）
(平成28年度撮影)



施行後（老朽建築物除却後）
(平成30年度撮影)



17 交流が盛んで魅力あふれるまちづくりの推進について（継続）

国	国土交通省都市局
	北陸地方整備局
県	土木部都市計画課
	土木部道路課

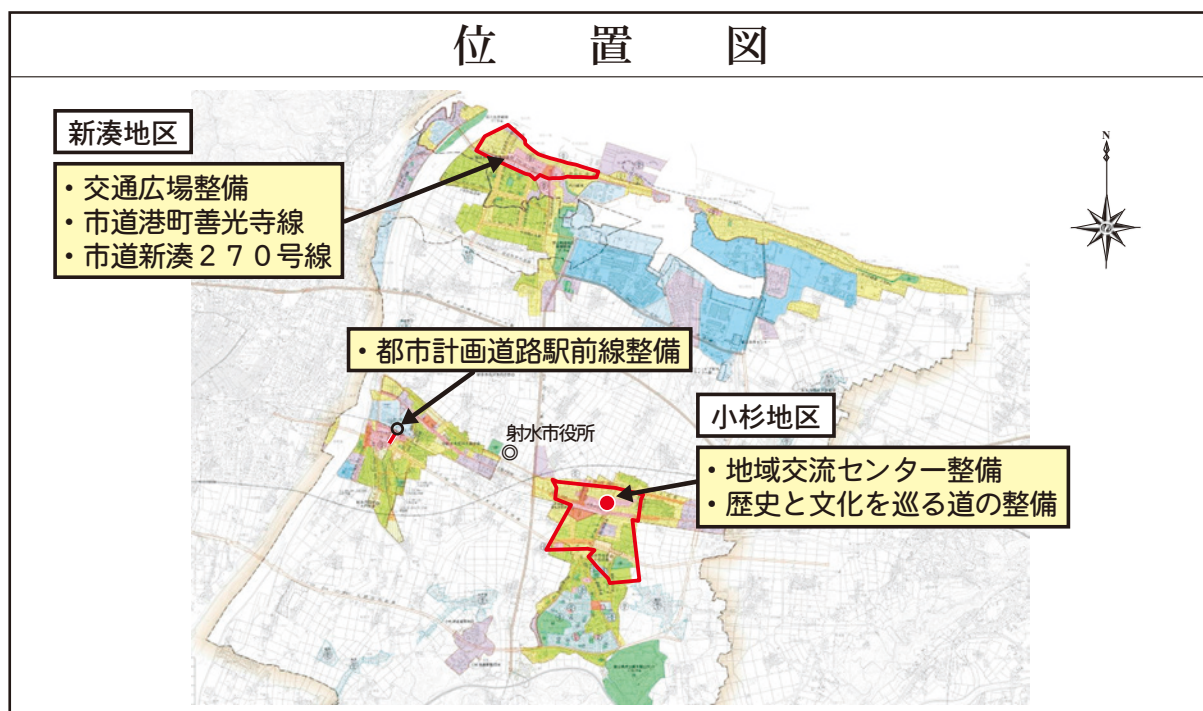
本市においては、各地区の特色を生かしたまちづくりを進めており、観光資源が豊富な新湊地区では、廃止した公共施設の跡地を利用し、民間活力を導入した複合交流施設や交通広場を整備し、交流人口の増加、公共交通の利便性の向上、さらには市民交流機能の充実など、賑わいの創出を目指しています。

一方、小杉地区では、既存施設を活用し、公共・公益施設の集約及び市民交流機能の強化により、文化・コミュニティ活動拠点の形成を図るとともに、周辺の歴史・文化資産を活かした交流人口の拡大による地域の活性化を目指しています。

また、大門・大島地区では、越中大門駅と市街地を結ぶ重要なアクセス道路として、都市計画道路駅前線の整備を進めていますが、現道はクランク形状で幅員も狭く、歩道が未整備で危険な状態であり、早急に事業を進める必要があります。

つきましては、これらの事業を着実に進めるため、社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業、街路事業）の確保について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業期間	事業主体	事業概要等
社会資本整備総合交付金 （都市再生整備計画事業、 街路事業）	平成26(2014)年度 ～令和3(2021)年度	市	新湊地区 116 ha 小杉地区 194 ha 駅前線 L=311m、B=20m



18 公園施設の長寿命化と安全・安心な公園づくりについて（継続）

国	国土交通省都市局 北陸地方整備局
県	土木部都市計画課

市民の身近な憩いの場である都市公園は、お年寄りから子供まで多くの人に親しまれていますが、老朽化が進んできており、長寿命化計画に基づく計画的な改築・更新による安全確保及び、維持に係るライフサイクルコストの縮減や平準化が必要です。

また、公園は災害時の避難場所となることから、施設の機能保全と安全対策が必要となっており、防災機能を向上させる必要もあります。

つきましては、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを目指すため、社会資本整備総合交付金（安全・安心対策事業）の確保について格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業期間	事業主体	事業概要等
社会資本整備総合交付金 （安全・安心対策事業）	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度	市	長寿命化対策工事(5か所) (改築及び更新)

